



いしかわ労福協

第 511 号 2010年8月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

第3回ライフ・サポートセンター幹部研修会開催

労福協、県ライフ・サポートセンターは、8月5日(木)金沢市湯涌荒屋町の「湯の出」にて、県内9地域のライフ・サポートセンター会長ら幹部及び連合石川、北陸労金、全労済石川の関係者ら31名が参加して第3回ライフ・サポートセンター幹部研修会を開催した。



研修会では、上田弘志労福協理事長が「景気は回復基調にあると言われ、有効求人倍率も改善傾向にあるが、各企業経営者は“未だに労働力に過剰感がある”として正規社員の雇用を手控える状況である。とは言え、ただ手をこまねているのではなく『ジョブいしかわ』による就業支援事業などを通じ、雇用の確保と働く者の環境向上に向けて、各地域LSCと協力して努めていきたい。」と挨拶した。



上田弘志理事長

議事では、宮下亮労福協専務理事が「ジョブいしかわ」、「福祉なんでも相談」の活動状況について、「『ジョブいしかわ』は、求職者の就業相談はもとより求人開拓に企業訪問を行ってきている。また、『福祉なんでも相談』では、生活保護申請など生活苦による相談が多くなっている」と報告し、続いて才田巖労福協副理事長が「緊急サポートネットワーク事業の現状と今後の進め



宮下亮専務理事

方」について、「今年度をもって終了する事業でありながら、現在も利用登録者が拡大しており事業の必要性が年々高まっている」と報告した。



才田巖副理事長

また、協議事項では、「全労済50周年事業」を各地域ライフ・サポートセンターが中心となりそれぞれ各地域で開催することや、これを期に全労済加入者の拡大に向けた「共済加入紹介運動」の取組み方や実施方針などについて提案された。

その後の質疑では、「全労済の利用拡大への取組みを確実なものとするには更に工夫が必要」などの活発な意見や質疑があった後、いずれも提案どおり確認された。

最後に、嶋垣利春労福協副理事長が「今後ともライフ・サポートセンター活動の充実に対する理解と協力はもちろん、労金、全労済の事業に対してもご協力いただきたい。」と挨拶し幹部研修会を終了した。



嶋垣利春副理事長

事業団体連絡会議

平成 23 年度自治体要請内容について協議をスタート

8月4日(水)
フレンドパーク
石川において、
2010 年度第 1
回事業団体連絡
会を関係団体担
当者ら 9 名全員
が出席して開催された。



提案内容を確認する担当者

会議では、宮下亮労福協専務理事が「各自治体に対し働く者の福祉向上を主眼に政策の要望を行うことのほか、労福協をはじめ各事業団体において運営上必要不可欠な助成金などについても、例年どおり要請していきたい。」と挨拶が

あり、各事業団体が提出した要請内容について、個別に説明を受けるとともに要請の方法などについても全体で確認した。

なお、今後の取り組みについては、労福協第 3 回理事会での承認をもとに第 2 回事業団体連絡会議で更に進めることとなる。

退職前セミナー

県ライフ・サポートセンターは、退職前セミナーを 6 月に開催した金沢会場に続き、7 月 24 日(土)の午前 9 時 30 分から白山市民交流センター、同日午後 1 時 30 分から小松市民センターにおいて、それぞれ社会保険労務士の谷内美穂子氏を講師に迎えて開催した。



白山会場

セミナーには、白山会場で 43 名、小松会場では 38 名が出席し、会場毎に地元のライフ・サポートセンター会長から「退職後における生活設計を組み立てる手掛かりとして受講されたい。」と挨拶があったあと、谷内講師が退職後の生活設計における健康保険、年金などの仕組みについて説明し、受講者は真剣にメモを取るなどして知識を深めた。



小松会場

また、セミナー終了後の個別相談会では多くの相談が寄せられ、谷内講師が対応に追われる一面もあった。

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2010年7月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	13	61
わじま	2	12	0
ななお	8	4	0
はくい	5	6	0
かほく	19	69	7
かなざわ	164	504	474
はくさん	38	87	16
こまつ・のみ	21	41	16
計	263	736	574

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場	(8月20日現在) 主 催
8月27日	金	第2回緊急サポートネットワーク全国交流集会	東京都内	厚労省
28日	土	ぶどう狩	土山ぶどう園	加賀 LSC
29日	日	こころの健康セミナー	七鹿労働者福祉会館	七尾・鹿島 LSC
31日	火	第2回事業団体連絡会議	フレンドパーク石川	労福協
9月1日	水	中部労福協第2回幹事会、職員研修会(～2日)	富山市	中部労福協
11日	土	グラウンドゴルフ大会	CCZ	白山・野々市 LSC
23日	木	第12次蘇州市総工会考察団 来日(～28日まで)	金沢市内ほか国内	労福協
23日	木	ありがとう ろうきんフェスタ 2010	県産業展示館2号館	金沢 LSC
25日	土	さわやかU 10 周年記念式典、講演会	金沢ニューグランドホテル	さわやかU
10月20日	水	第8回福祉グラウンドゴルフ大会	かほく市「高松グラウンドゴルフ場」	県 LSC
11月9日	火	日帰りバス旅行「伊勢 1000 年祭参詣」	三重県伊勢市	金沢 LSC

※各行事については、直接主催者に確認ください。

全 労 済

全労済石川県本部第 36 回通常総代会 開催

7月30日13時30分より
労済会館3階ホールに代議
員等100名が参加し、「全労
済石川県本部第36回通常総
代会」、「石川県勤労者共済生
活協同組合第55回通常総代
会」、「全労済石川県本部第1
回代表者会議」が順に開催された。



挨拶する本田和雄全
労済石川県本部長

開会にあたり、全労済石川県本部ならびに石
川県勤労者共済生活協同組合を代表して、本田
和雄理事長は、2009年度の活動は「最良の品質
を組合員へ」をめざした経営方針に基づき、「組
合員から信頼・支持される事業基盤への革新」
にむけて展開をした。特に、業務品質の向上に
むけて、共済金支払調査に基づく再発防止策の
継続やISO10002取得により苦情の未然防止・
再発防止およびCS・業務改善活動などを進め
ながら、「組合員の全労済」をめざした取組みの
強化を図ってきた。



議案説明する
水野志郎全労済
専務執行役員

また、今総代会では、全国
的組織機構と役員制度の見直
し等の方針に従い、全労済石
川県本部の「理事・監事」は「経
営委員」とし、「総代会」を「代
表者会議」に変更していきた
いと挨拶した。

水野志郎専務
理事が議案を説
明し、全ての議
案は、提案どお
り可決承認され
た。



2010年度の主

総代会の様様

な活動計画は次の通り

1. すべての業務の革新による業務品質のさらなる向上
2. 協力団体と組合員一人ひとりの期待に応える事業推進活動への改革
3. 創立50周年に向けた取組み
 - ①記念式典の開催は10月22日(金)金沢都ホテルにて開催
 - ②各地域ライフ・サポートセンターにおいて、地域記念イベントを開催。
 - ③連合石川と連携を図り、助け合い運動の一環として「自賠責共済」加入拡大の取組み。
4. 事業計画として、マイナス4,900件、マイナス270,000口のマイナス目標を設定し、契約高の目標を6兆7742億5327万8千円とした。

なお来賓には、石川県県民文化局県民生活課清水克弥課長、金沢市産業局労働政策課寺田孝課長補佐、上田弘志連合石川会長・石川労福協理事長、全労済中日本事業本部秋田元次常務執行役員が出席し順に挨拶があった。

第2回地方労福協会議

中央労福協主催の
第2回地方労福協会
議が8月2日(月)
～3日(火)東京の如
水会館において全国
の労福協から60名が参加して開催された。



1日目はまず中央労福協が主要課題について
報告し、続いて北部、東部、中部、西部、南
部の各ブロックから主な活動について報告され
た。

さらに特別テーマの講演として、関口税理士
から「公益法人制度改革に対する今後の対応に

ついて」現状の報告と各労福協が取り組むべき
課題について説明があった。また、池本誠司弁
護士から「地方消費者行政の充実・推進に向け
て」として、労福協が地方消費者行政の強化を
求める動きが必要だと説明があった。

2日目はNPO法人「ユースポート横浜」の岩
永理事長から「パーソナルサポート事業の実践
に向けて」として取り組み状況の報告があった。
続いて、ライフサポートを設置して1年経過し
た課題について佐賀、愛媛、京都の各労福協
から報告があり、構成組織・団体との連携につ
いて新潟、山形の両労福協から報告があった。

最後に全体を通しての質疑・意見交換があり、
2日間の会議を終えた。

第3回就業支援連絡会議

第3回就業支援連絡会議(主催：中央労福協)が8月3日(火)東京の如水会館において全国の労福協から43名が参加して開催された。

当日は、沖縄労福協の玉城専務理事から「パーソナル・サポートセンター導入に向けて」として、沖縄労福協が取り組むこととなる背景と現状の報告、そして今後応募する地域へのアドバイスがあった。

続いて、「職業紹介、ニート支援、基金訓練などの取り組み」について、山形、長野、石川、岡山、山口、徳島、香川の各労福協および労協連、Hands (NPO 団体)など多くの団体から取り組み報告がされた後、意見交換がされ、現状認識を深めることとなった。

フレンドパーク運営委員会 地デジ対応などを協議

7月23日(金)フレンドパーク石川7階会議室において、労福協を含めた5団体6名が出席し、第11回フレンドパーク石川運営委員会が開催された。



この委員会は、会館が設立されて以来、会館の利用状況や会館維持にかかる事案を検討するものとして、都度開催してきたものであり、今回の委員会では、昨年度の会館運営状況の報告と近況利用状況について報告された後、会館の諸問題(①地上デジタル放送の対応、②自転車置場の管理、③ゴミ収集場所のあり方)について協議し方向性を確認した。

また、会館休館日のあり方について、テナント事情を考慮して取り決めては如何かと提起され、今後の検討課題とした。

愛のエコキャップ運動

ペットボトルのキャップを集めています。
このキャップを集めて、

「世界の子どもにポリオワクチンを届けよう」
「Co2の削減に努め地球温暖化を抑止しよう」
皆さんの温かいご協力をお願いします。

全労済 50周年記念事業を各地域LSCで開催

全労済は、設立50周年を記念して組合員らを対象に日頃の利用を感謝して、各地域ライフ・サポートセンターで記念イベントを開催します。

現在のところ、各地域ライフ・サポートセンターでは、次のとおり記念イベントを計画しています。

詳しくは、各地域ライフ・サポートセンターまでお問い合わせください。

地域ライフ・サポートセンター	実施日	事業内容
珠洲・能登 (0768)82-6636	未 定	バス旅行を予定
輪島・穴水 (0768)22-1081	未 定	バス旅行を予定
七尾・鹿島 (0767)52-9688	11月7日(日)	映画鑑賞
羽 昨 (0767)22-9960	未定	バス旅行を予定
河 北 (076)289-4668	未定	親子ふれあいグラウンドゴルフ
金 沢 (076)231-2313	11月20日(土)	映画鑑賞
白山・野々市 (076)274-5114	10月2日(土)	バス旅行
小松・能美 (0761)21-3367	10月を予定	木場湯ウォークラリー
加 賀 (0761)72-6860	未定	陶芸教室を予定

ZENROSAI NEWS

一人ひとりに合わせた安心を。
こくみん共済には
家族を大切に思う
保障が
あります。

家族一人ひとりに、一生つづく大きな安心を。

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・無期定期生命共済・養老生命共済・個人長期生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会